



株主のみなさまへ

第73期上半期のご報告

2019年4月1日から2019年9月30日まで

株式会社 キング

TOP MESSAGE

キンググループは「上質=プレミアム」に強くこだわり、付加価値の高い商品力と高品質・高感度な商品づくりに注力し、継続的、安定的な業績向上を目指します



代表取締役会長CEO
山田 幸雄



代表取締役社長COO
長島 希吉

株主のみなさまには、ますますご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

平素は温かいご支援を賜りまして、有難く厚く御礼申し上げます。ここに、第73期上半期(2019年4月1日から2019年9月30日)における当社グループの概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性に加え、消費増税後の国内消費の落ち込みへの懸念などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、衣料品全体に対する購買意欲が低下しているなか、長引く猛暑や台風などの天候不順による影響も相俟って、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上質=プレミアム」に強くこだわり、付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、ブランド構成を拡充した複合ブランドショップ開発、店頭運営力の更なる向上、生産管理機能の一層の強化、経費の効率使用に努めてまいりました。

その結果、売上高は前年同期比2.0%増加の53億64百万円、営業利益は前年同期比9.4%減少の6億25百万円、経常利益は前年同期

比8.3%減少の6億67百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10.1%減少の4億41百万円となりました。

事業セグメント別の状況は以下の通りであります。

■アパレル事業

「強い商品が全てに優先する」ことをアパレル事業における揺るがない基軸として、企画部門では「上質=プレミアム」に強くこだわり、高品質・高感度な「ものづくり」を目指して、上質で複雑性のある差別化された素材開発の強化、店頭活性化に向けた企画発信のプロモーションの強化、生産管理機能の強化等に取り組みました。

営業部門では「売上高の拡大」を最重要課題として、ブランド構成のバリエーションを拡充した複合ブランドショップ等の新規開発の強化を推進すると共に、既存ショップの売上拡大に向けては、展開ブランドの拡充や前期に導入したスマートフォン対応アプリによるお客様と店頭との情報交換の強化、消費増税前に向けたブランド周年イベントやプロモーションの強化等、店頭運営力の更なる強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は前年同期比2.7%増加の44億98百万円となりましたが、新規開発によって経費が先行したこと等により、営業利益は前年同期比18.6%減少の2億87百万円となりました。

■テキスタイル事業

テキスタイルのプロフェッショナルとして自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指すと共に、既存主力先の深耕化、次期主力先の開発強化、次世代人材の育成に引き続き取り組みました。

また、「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の強化や素材・加工方法の開発推進、提案力向上にも注力し、企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めました。

しかしながら、アパレル業界全体の苦戦が続いていることもあり、売上高は前年同期比2.1%減少の5億20百万円、営業利益は前年同期比17.1%増加の53百万円となりました。

■エステート事業

東京・京都・大阪の各不動産に係る賃貸事業につきましては、引き続き資産の有効活用に努めました。

その結果、売上高は前年同期比0.1%増加の3億45百万円、営業利益は前年同期比0.3%増加の2億87百万円となりました。

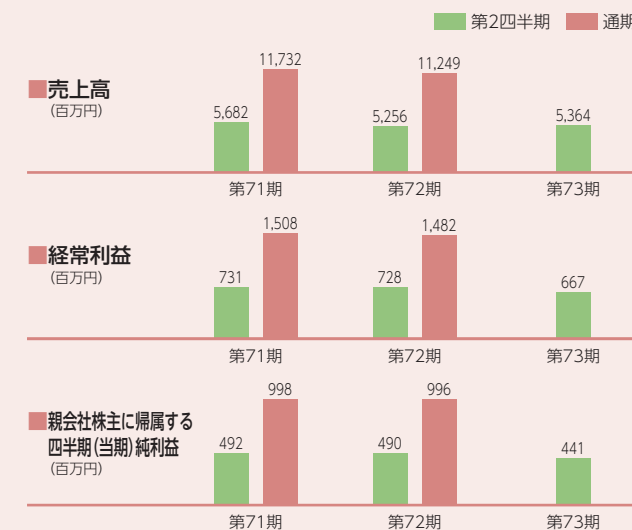
今後の見通しにつきましては、国内景気は雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復傾向が期待されますものの、個人消費においては消費増税による影響が懸念されるなか、海外経済の不確実性も相俟って、景気の先行きは不透明であり、引き続き難しい経営環境が継続するものと予想されます。

このような環境のもと、当社グループでは、「強いものづくり」を変わらぬ基軸に置き、事業構造の更なるイノベーションに取り組み、ものづくりにおける「独自性の探求」と「複雑性の進化」を徹底追求し、お客様にご満足いただける高品質・高感度な商品づくりを目指し続けると共に、複合ブランドショップの開発、既存ショップの売上拡大、生産管理機能の強化、経費の効率使用に努め、科学(構造式)をベースに、感性(想像力)を駆使して、継続的、安定的に質の高い事業構造を目指すべく全力を傾注する所存であります。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

第73期第2四半期連結決算ハイライト



Highlight

	第71期		第72期		第73期
	第2四半期 2017年4月 2017年9月	通期 2017年4月 2018年3月	第2四半期 2018年4月 2018年9月	通期 2018年4月 2019年3月	第2四半期 2019年4月 2019年9月
売上高	5,682	11,732	5,256	11,249	5,364
経常利益	731	1,508	728	1,482	667
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	492	998	490	996	441
1株当たり四半期(当期)純利益	25円93銭	52円89銭	26円27銭	53円67銭	24円18銭
総資産	23,787	24,549	24,348	24,554	24,461
純資産	20,529	20,891	21,057	21,053	21,143
1株当たり純資産	1,085円07銭	1,118円89銭	1,127円78銭	1,154円53銭	1,159円46銭

第2四半期決算の概要(連結)

四半期連結貸借対照表

科 目	百万円	
	第72期第2四半期 2018年9月30日現在	第73期第2四半期 2019年9月30日現在
資産の部		
流動資産	12,730	13,195
現金及び預金	9,424	9,931
受取手形及び売掛金	1,099	1,127
商品	2,032	1,974
原材料及び貯蔵品	35	38
その他	143	127
貸倒引当金	△5	△3
固定資産	11,618	11,266
有形固定資産	8,622	8,676
建物及び構築物	1,882	1,919
土地	6,474	6,480
その他	265	276
無形固定資産	411	351
投資その他の資産	2,583	2,238
投資有価証券	1,760	1,402
長期貸付金	6	5
繰延税金資産	7	23
差入保証金	589	580
その他	236	237
貸倒引当金	△16	△10
資産合計	24,348	24,461

科 目	百万円	
	第72期第2四半期 2018年9月30日現在	第73期第2四半期 2019年9月30日現在
負債の部		
流動負債	2,175	2,194
支払手形及び買掛金	934	976
短期借入金	380	380
1年以内返済予定の長期借入金	30	—
未払法人税等	164	163
賞与引当金	139	135
役員賞与引当金	10	10
その他	516	529
固定負債	1,115	1,123
長期借入金	—	50
繰延税金負債	93	—
退職給付に係る負債	173	175
資産除去債務	107	124
長期未払金	167	167
その他	573	605
負債合計	3,291	3,318
純資産の部		
株主資本	20,428	20,774
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	11,861	12,444
自己株式	△1,905	△2,142
その他の包括利益累計額	628	368
純資産合計	21,057	21,143
負債及び純資産合計	24,348	24,461

四半期連結損益計算書

科 目	百万円	
	第72期第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	第73期第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	5,256	5,364
売上原価	2,252	2,355
売上総利益	3,004	3,008
販売費及び一般管理費	2,313	2,383
営業利益	690	625
営業外収益	41	44
受取利息	3	3
受取配当金	22	22
仕入割引	11	10
その他	3	7
営業外費用	3	2
支払利息	1	1
その他	2	0
経常利益	728	667
特別利益	0	—
固定資産売却益	0	—
特別損失	7	14
固定資産除却損	7	14
税金等調整前四半期純利益	720	652
法人税、住民税及び事業税	165	163
法人税等調整額	64	48
四半期純利益	490	441
親会社株主に帰属する四半期純利益	490	441

事業セグメント別売上高

区 分	百万円	
	第72期第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	第73期第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
アパレル	4,380	4,498
テキスタイル	531	520
エステート	345	345
合 計	5,256	5,364

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	百万円	
	第72期第2四半期 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	第73期第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	298	509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△344
現金及び現金同等物の増減額	△164	1
現金及び現金同等物の期首残高	8,589	△8,929
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,424	8,931

■会社の概要 (2019年9月30日現在)

会社名 ● 株式会社キング

設立 ● 1948年9月

資本金 ● 23億46百万円

社員数 ● 189名(グループ)
290名(店頭販売員等を含む)

主要事業 ● アパレル(レディス・ファッショングッズ)
(グループ) テキスタイル(プリント・無地先染)
エステート

■役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長CEO ● 山田 幸雄

代表取締役社長COO ● 長島 希吉

取締役専務執行役員 ● 石井 修二

取締役専務執行役員 ● 四反田 孝

取締役 ● 鈴鹿 且久

取締役 ● 澤田 眞治郎

常勤監査役 ● 苗村 尚志

監査役 ● 北村 茂昭

監査役 ● 平居 新司郎

(注) 1. 取締役の鈴鹿且久氏、澤田眞治郎氏は、社外取締役であり、東京証券取引所が定める独立役員であります。
2. 監査役の北村茂昭氏、平居新司郎氏は、社外監査役であります。

■事業所

●東京本社
〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目14番9号 TEL (03) 3490-1371

●大阪店
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番7号 TEL (06) 6368-7800

●京都本店
〒600-8214 京都市下京区東塩小路高倉町2番の1 TEL (075) 681-9110

●渋谷店
〒150-0041 東京都渋谷区神南1丁目6番6号 TEL (03) 3476-0260

■株式の状況 (2019年9月30日現在)

●株式の総数及び株主数

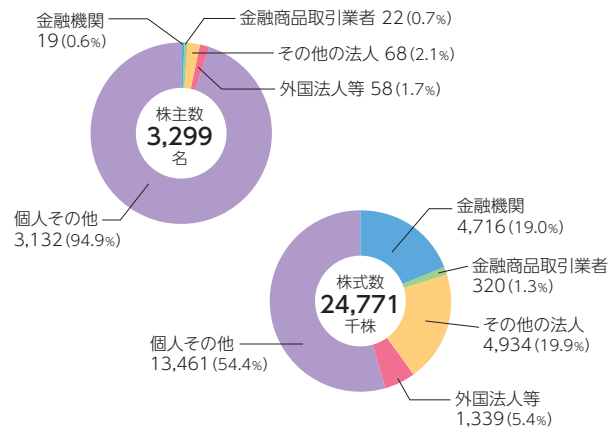
発行可能株式総数	95,572,000株
発行済株式の総数	24,771,561株
当第2四半期末現在株主数	3,299名

●大株主

株主名	株式数(千株)
大同生命保険 株式会社	1,140
一般財団法人 山田育英財団	1,096
キング共栄会	1,070
株式会社 三菱UFJ銀行	930
株式会社 中央倉庫	914
株式会社 京都銀行	842
有限会社 ワイ・エンタープライズ	800
山田幸雄	731
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	572
日本生命保険 相互会社	503

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式 6,536千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

●株式の所有者別分布



■株主メモ

事業年度 ● 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 ● 定時株主総会 3月31日
● 剰余金の配当 期末 3月31日

定時株主総会 ● 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 ● 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 ● (〒541-8502) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 ● 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 ● 当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.king-group.co.jp/ir/index.html>
ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■単元未満株式の買増制度のご案内

単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式の数と合わせて1単元になる数の株式を当社に対して買増請求することができます。詳細につきましては、株主名簿管理人までお問い合わせください。

■株主様ご優待制度のご案内

最低必要株式数 100株

ご優待内容

- (1) 図書カードの贈呈
3月31日現在の株主様
- 保有株式500株以上1,000株未満の株主様 500円分の図書カードを贈呈
 - 保有株式1,000株以上2,000株未満の株主様 1,000円分の図書カードを贈呈
 - 保有株式2,000株以上の株主様 2,000円分の図書カードを贈呈
- (2) 当社ファミリーセールご招待
- ①3月31日現在の100株以上保有の株主様
 - 6月開催の当社ファミリーセールご招待状を贈呈
 - 6月ファミリーセールでの10万円(税込)までのお買物に対し、10%の割引券を贈呈
 - ②9月30日現在の100株以上保有の株主様
 - 12月開催の当社ファミリーセールご招待状を贈呈
 - 12月ファミリーセールでの10万円(税込)までのお買物に対し、10%の割引券を贈呈

※当社ファミリーセールは、当社グループ社員・家族及びその関係者を対象に東京会場及び大阪会場にて開催しております。

KINGCO.,LTD.

<http://www.king-group.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。